

日本の競泳界のトップアスリートを支える伝統と革新に裏打ちされた染色業界の中核企業

春夏秋冬と美しい四季のうつろいを見せる、新潟平野のほぼ中央に位置する五泉。その広大な自然に抱かれ、当地の豊かな水源に恵まれた同社は、編物・織物の染色およびプリント加工を行い、繊維産業のなかでも特に世界をリードする日本の合繊メーカー、テキスタイル産業界の中核に位置している。絹製品の日本の伝統加工と、特許取得の撥水加工を融合させた染色は、日本競泳のトップアスリートの水着として認められ、数々の活躍に貢献した。

所在地 新潟県五泉市木越1600
 電話/FAX 0250-42-5102/0250-43-3848
 URL <http://www.niigatasenko.co.jp/>
 代表者 代表取締役社長 金塚 紀之

設立 1984年
 資本金 10,000万円
 従業員数 140人



伝統工法と特許加工で、競泳用水着のハイエンド化を実現

同社の染色技術は、絹の前処理加工で古くから伝わる「精練漂白」である。生糸の表面に存在するニカワ質であるフィブロインやその他の不純物を除去する加工方法を、応用することで、ストレッチ織物を、目的に応じた伸張回復率に調整するよう収縮加工する。特徴として、①伸張回復性、②均一な染色、③優れた撥水性があげられる。特に、繊維1本1本に撥水剤を浸透させる独自加工(特許取得)で生地が引っ張られても良好な両面撥水性を実現、競泳用水着には最適な加工となった。



染色機

トップアスリートの活躍に貢献、さまざまな分野での応用に期待

同社の技術は、部位ごとに異なる伸張回復性を発揮し、それごとに染色が変わるカラフルな水着を実現した。このため、オリンピック日本代表の競泳選手が着用し、優秀な成績を挙げることに貢献した。トップアスリートに認められた撥水加工技術を一般競泳水着にも広めるため、五泉市役所内での展示、メディアでの紹介、PRなど地域貢献にも協力している。この技術を応用し、登山用衣料、漁業用衣料、介護用衣料、コンプレッションインナーなどへの展開を図っており、応用製品への広がりも多い。



同社水着製品

環境負荷の提言への取組、地元雇用創出への貢献

同社は、撥水加工剤の研究とともに、国際的にも課題となっている環境負荷低減対策としてPFOA(パーフルオロオクタン酸)不使用や、非フッ素化への取り組みを続けている。また、排水負荷を減らすため、低浴比タイプ染色機の導入、工程改良による低エネルギー化など、自然環境に配慮した取組もおこなっている。さらに、工業高校での伝統技術の授業開催や、工場見学会など、地域に根づいた産業として、年間2名~4名の人材を採用。従業員140名の雇用は、地元の雇用創出に貢献している。



トップアスリートを支える同社製品